



令和8年7月15日 14時00分

資料配布 近畿地方整備局足羽川ダム工事事務所

第26回 足羽川ダム建設事業推進協議会の結果概要について

足羽川ダム建設事業及びこれに伴う水源地域対策について、国土交通省、福井県、池田町の三者が相互に連携・協力し、計画的な事業の推進を図るため、協議会を開催しました。協議会の結果概要は、別紙のとおりです。

<取扱い>

<配布場所>

福井県政記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省 近畿地方整備局
足羽川ダム工事事務所

副所長

事業対策官

福井県 土木部 河川課 参事

池田町 ダム対策室 室長

まつだ
松田

いしとび
石飛

やまざし
山岸

たなか
田中

こうき
幸喜

たかし
隆司

りえ
理恵

やすたか
康隆

TEL(0776)27-0642(代表)

TEL(0776)20-0485

TEL(0778)44-8005

第 26 回 足羽川ダム建設事業推進協議会 結果概要

日 時：令和 8 年 7 月 1 5 日（水）10:00～11:00

場 所：福井県庁 2 階中会議室

出席者：	近畿地方整備局	河川部長	ふくわたり 福 渡	たかし 隆
	福井県	土木部長	いわお 岩 男	ただあき 忠 明
	池田町	副町長	みぞぐち 溝 口	じゅん 淳

【目的】

『足羽川ダム建設事業推進協議会』は、足羽川ダム建設事業及びこれに伴う水源地域対策について、国土交通省、福井県、池田町の三者が相互に連携・協力し、計画的な事業の推進を図るため平成 18 年 10 月 10 日の基本協定の締結をもって設置されたものである。

本日の第 26 回協議会は、足羽川ダム建設事業の進捗等を議題として開催したものである。

【協議会概要】

- ダム建設事業及び水源地域対策の進捗状況について確認した。

【協議内容】

〈足羽川ダム建設事業の進捗について〉

- 足羽川ダム建設事業の進捗について、水海川分水施設の本体工事の着工が遅れたものの、現時点では全体工期に遅れがないことを国より報告。
- 現在の事業費に変更した令和 5 年度以降の物価上昇等により、リスク対策費を活用し、事業費内で進捗が図れていることを国より報告。
- 事業進捗管理及びコスト縮減の取り組みについて、引き続き徹底を図り、一日も早い完成を目指して着実に事業を推進していくことを確認した。

〈足羽川ダム建設事業に係る水源地域対策の進捗について〉

- 水源地域対策の取り組み状況について県及び町より報告され、着実な事業の進捗に向け三者が協力していくことを確認した。

〈国からの報告事項に対する福井県の要請〉

- 事業費内での進捗および全体工程に遅れがないことを確認、引き続き、コスト縮減の取り組みや事業費等監理の徹底をお願いした。

〈池田町から国及び県に対する要請事項〉

- 地域振興策に対する支援および脱炭素社会実現への協力をお願いした。

＜第 26 回＞
足羽川ダム建設事業推進協議会

令和 8 年 7 月 15 日（水）
10 時 00 分～11 時 00 分
福井県庁 2 階中会議室

会 議 次 第

1. 開 会

2. 挨 拶

3. 議 事

（1）足羽川ダム建設事業の進捗について（資料 1， 2）

・・・・・・・・ 国交省説明

（2）足羽川ダム建設事業に係る水源地域対策について（資料 3）

・・・・・・・・ 県・町説明

（3）その他

4. 閉 会

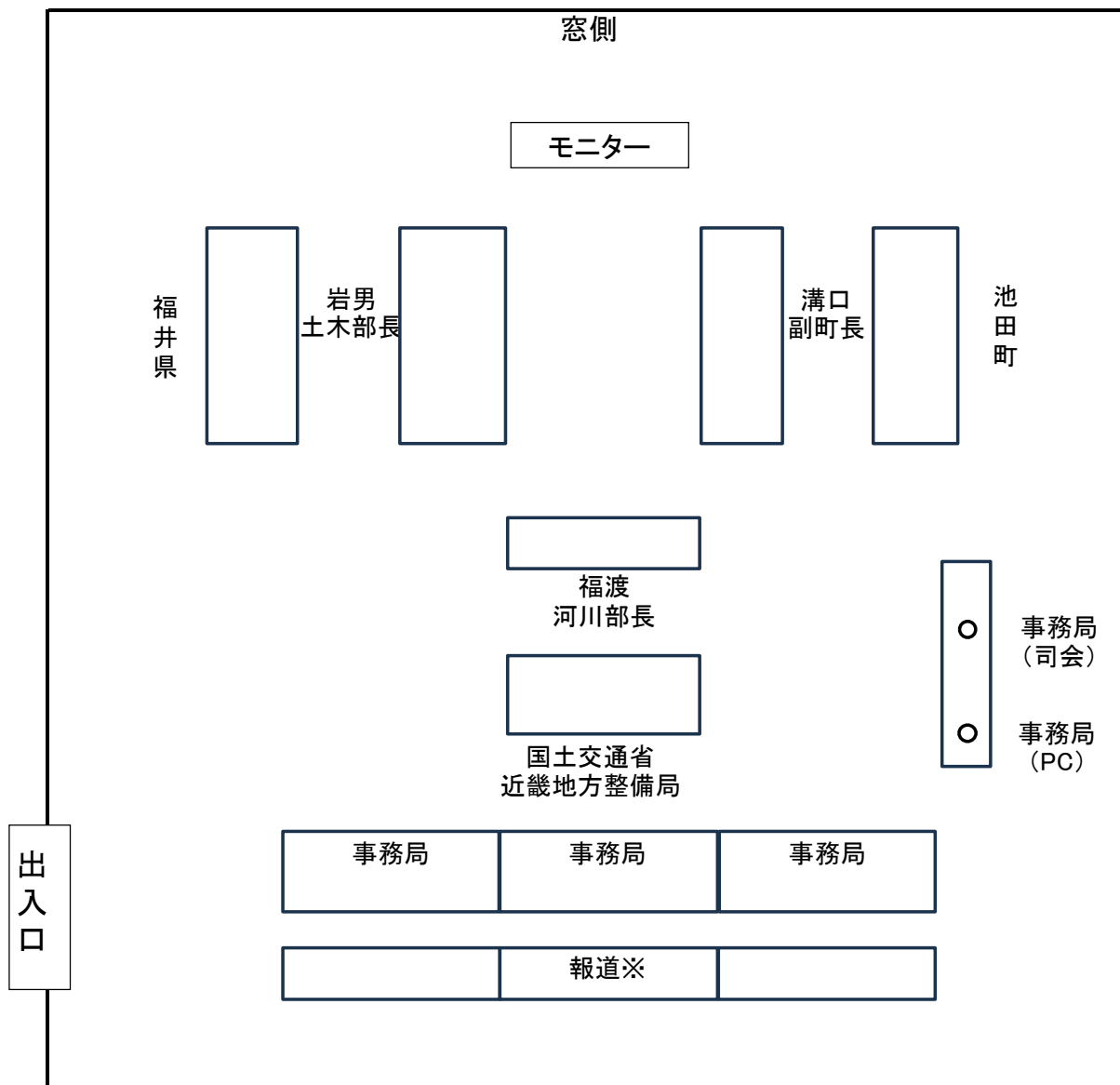
資料一覧

資料 1、 2 足羽川ダム建設事業の進捗状況

資料 3 足羽川ダム建設事業に係る水源地域対策について

第26回 足羽川ダム建設事業推進協議会(配席図)

福井県庁 2階中会議室



※報道機関は、頭取まで

足羽川ダム建設事業の進捗状況

1. 事業計画

① 工事計画関係

- ・令和8年度予算：約185.3億円。
- ・ダム本体建設工事に着手（令和2年11月）。
- ・ダム本体堤体打設開始（令和4年10月）。
- ・ダム本体、水海川導水トンネル、水海川分水施設関連工事及び付替道路工事等を引き続き実施。

② 環境アセスメント

- ・『足羽川ダム環境モニタリング委員会』により、環境モニタリング計画を審議。
（第1回：平成26年3月14日、第2回：平成27年2月25日、第3回：平成28年3月9日、
第4回：平成29年3月8日、第5回：平成30年3月15日、第6回：平成31年3月14日、
第7回：令和2年3月19日、第8回：令和3年3月18日、第9回：令和3年12月8日、
第10回：令和4年3月18日、第11回：令和5年3月16日、第12回：令和6年3月13日、
第13回：令和7年3月10日、第14回：令和8年3月9日）
- ・今年度も引き続き、環境調査（モニタリング調査）を継続実施する。

2. 生活再建対策

① 用地補償関係

- ・平成25年8月下旬より、土地、物件調書の確認が終了した地権者に対し、補償金額を提示し、契約締結を開始。
- ・令和8年3月末現在で、家屋の移転を伴う68戸全ての移転を完了。事業用地買収は全体面積の100%の進捗。
- ・事業認定の告示（令和3年3月16日）。土地明渡し、登記完了（令和4年2月20日）。

② 代替地関係

- ・池田町内の集団移転地については、平成26年11月に2戸全ての移転契約を完了。
（平成27年12月に完成）
- ・福井市内の集団移転地については、平成28年7月に6戸全ての移転契約を完了。
（平成30年12月に完成）

③ 公共補償について、平成30年3月に池田町と全ての契約を完了。

3. 地域振興策

- ・第12回足羽川ダム建設推進協議会（平成26年10月17日開催）にて、池田町の地域振興策について、国、福井県、池田町で協定締結。
- ・平成27年3月11日、水源地域整備計画が決定。
- ・令和4年7月19日、地域活性化施策の実施に関する変更協定締結
- ・現在地域振興策が各事業主体により実施中。

4. その他

① 不当要求行為関係

- ・事業の円滑な推進や関係者の安全の確保を図るため、福井県警察本部などの関係機関と連携し「足羽川ダム建設事業に関する不当要求行為等対策連絡会」を開催。
（第1回：平成26年4月22日、第2回：平成27年5月22日、第3回：平成28年5月24日、
第4回：平成29年5月25日、第5回：平成30年6月1日、第6回：令和元年5月24日、
第7回：令和2年8月5日、第8回：令和3年6月24日、第9回：令和4年7月25日、
第10回：令和5年6月15日、第11回：令和6年7月25日、第12回：令和7年6月23日）

② 工事現場の安全・衛生・環境保全について

- ・事業区域内で大小様々な規模の工事を重複して進捗している中、工事現場の安全・衛生・環境保全に関する委員会を設立（第1回：平成30年8月22日、第2回：平成30年11月1日、
第3回：令和元年10月25日、第4回：令和2年11月6日、第5回：令和3年12月3日、
第6回：令和4年12月8日、第7回：令和5年12月5日、第8回：令和6年12月4日、第9回：令和7年12月4日）。

③ 広報関係

- ・インフラツーリズムの推進

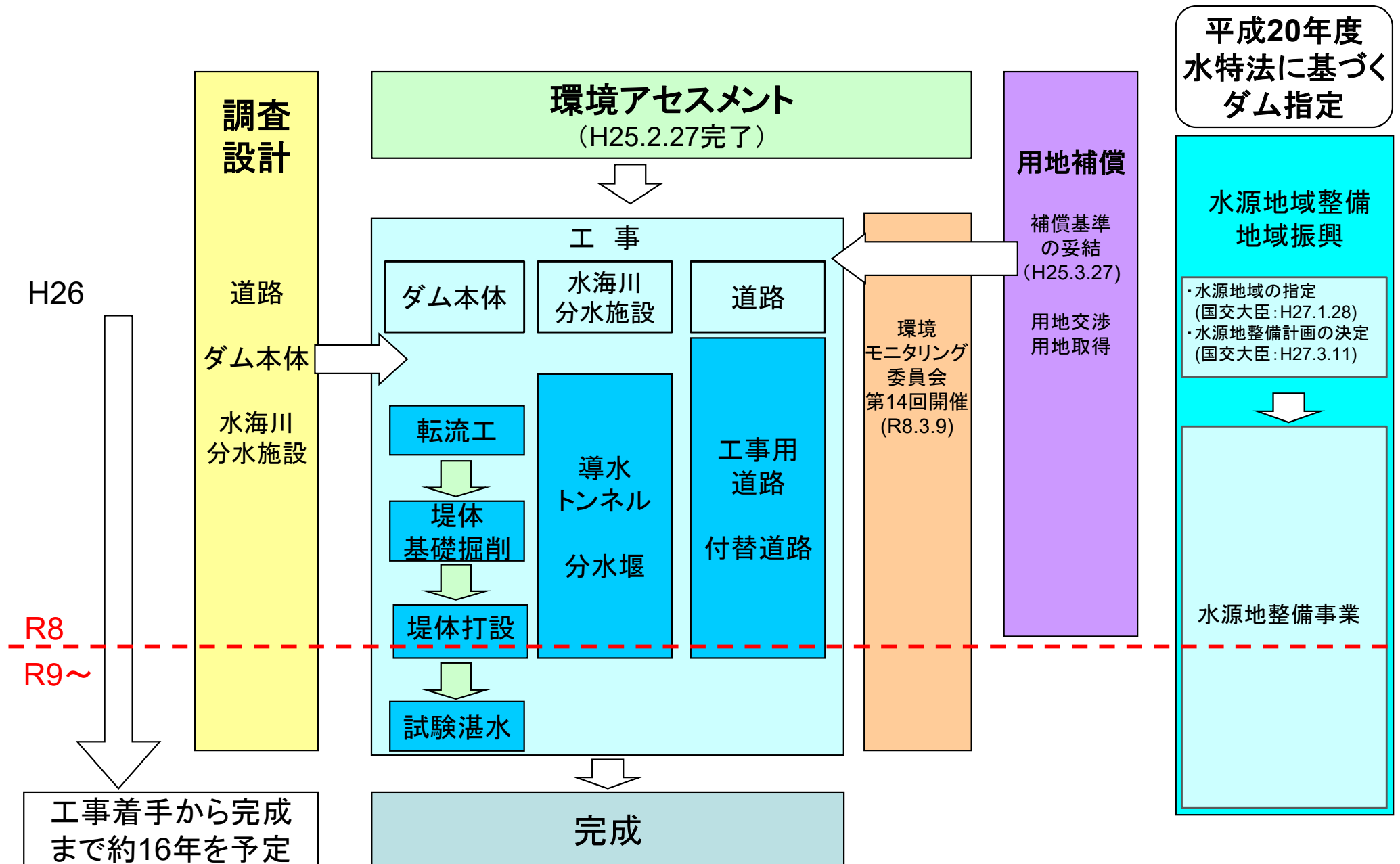
第26回

足羽川ダム建設事業推進協議会資料 (足羽川ダム建設事業の進捗状況)

令和8年7月15日

足羽川ダム工事事務所







事業完了までに要する必要な工期（案）

：クリティカル

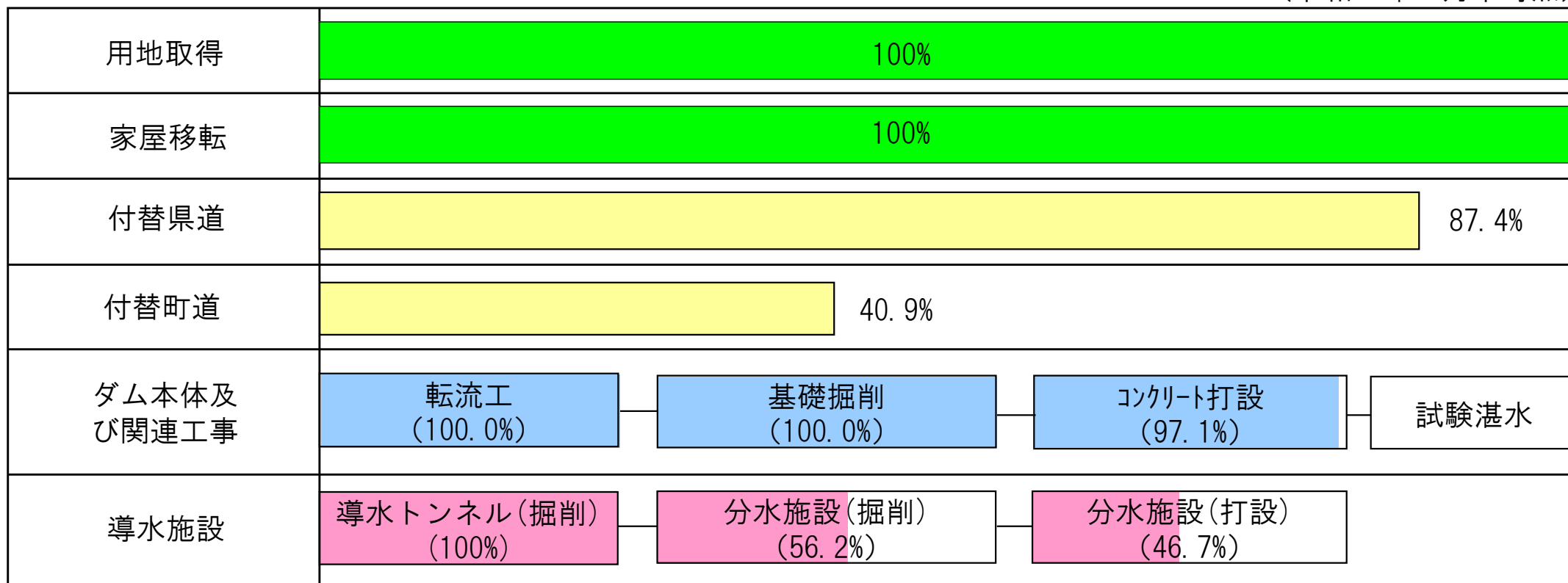
種 別		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
ダム 堤 体 の 工 事	仮排水路トンネル(転流工)																
	ダム本体掘削(堤体基礎掘削工)																
	堤体打設																
	管理設備工・放流設備工																
工事用道路(工事用道路の設置工事)																	
導水トンネル(導水施設(分水堰含む)の工事(部子川～水海川))																	
建設発生土の処理																	
付替道路(道路の付替工事)																	

※今後行う詳細な検討結果や設計成果、予算の制約や入札手続き等によっては、見込みのとおりと異なる場合がある。



- 令和8年度は、引き続きダム本体工事、導水トンネル工事、分水施設関連工事及び付替道路工事を実施する。
- 用地取得については、令和7年12月末時点において完了。

(令和8年6月末時点)



※付替県道・町道の進捗率は、契約ベースによるもの

凡例 用地取得 付替工事 本体関連 導水施設

令和8年度は、約185億円をもって、以下の内容を実施します。

■ 工事費 約 127億

- ・ダム本体(堤体打設)工事及び原石山の掘削工事を継続して実施します。
- ・水海川導水トンネル工事及び水海川分水施設関連(分水堰)工事を継続して実施します。
- ・管理に向けた管理棟・電気機械関係設備の整備を実施します。

■ 用地及び補償費 約 37億

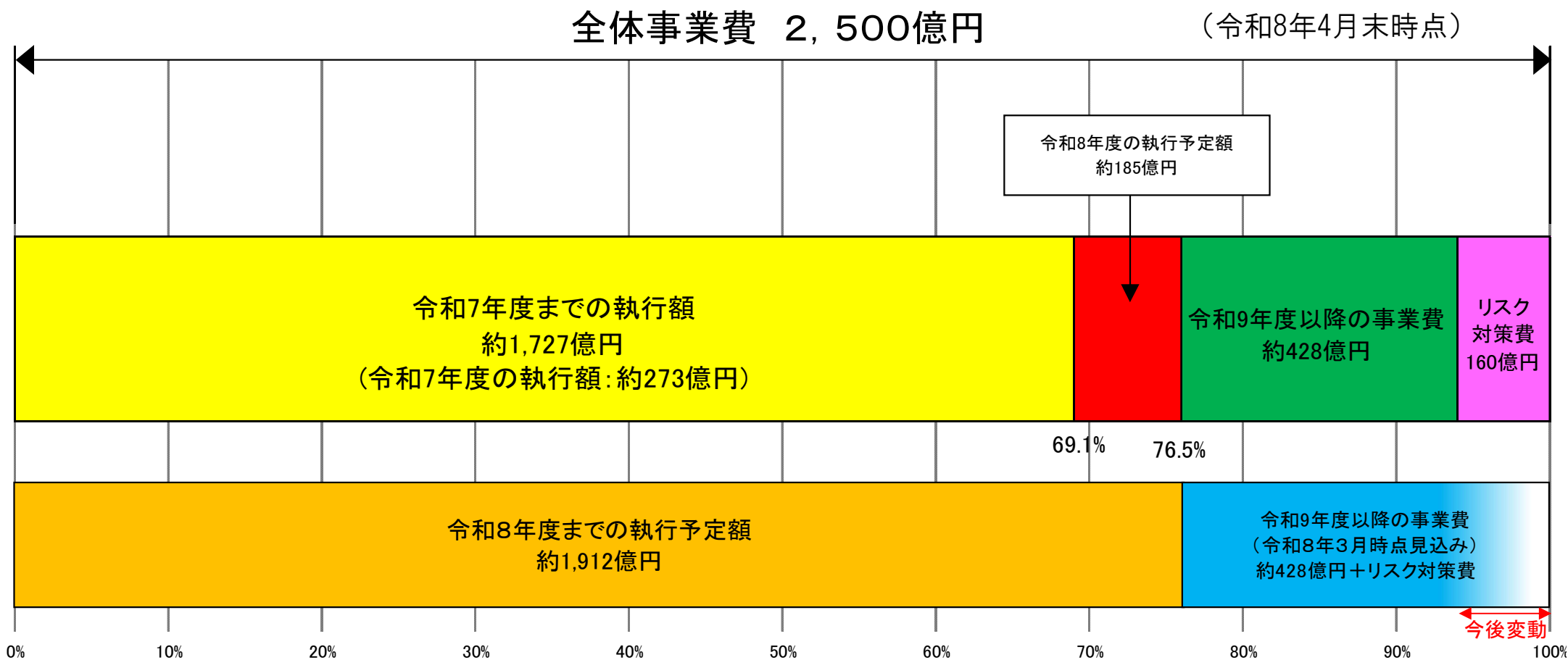
- ・付替道路工事を継続して実施します。

■ 測量設計費等 約 21億

- ・ダム関連施設(管理設備含む)の設計及び必要となる調査を継続して実施します。
- ・水位・流量観測、雨量観測、河川の水質観測や気象観測、環境モニタリング調査を継続して実施します。



- 令和7年度までの執行額は約1,727億円で、令和8年度は約185億円を執行予定である。
- 令和5年時点で予見し得なかった物価上昇率及び地質、災害復旧関連などに対してリスク対策費を充当。
- 今後の物価上昇率により上記金額は増減する。



※ 上記表示額は令和8年4月時点のものであり、今後精算等により変更があり得る。
 なお、上記表示額は、四捨五入の関係から、計算が合わない場合がある。
 ※ 令和8年度の執行予定額は、当初配分額を表示している。

ダム本体関連工事



足羽川ダム本体建設(第2期)工事



足羽川ダム本体建設(第2期)工事
(骨材製造設備)

付替県道

水海川分水施設

導水トンネル



足羽川ダム付替県道4号橋他工事



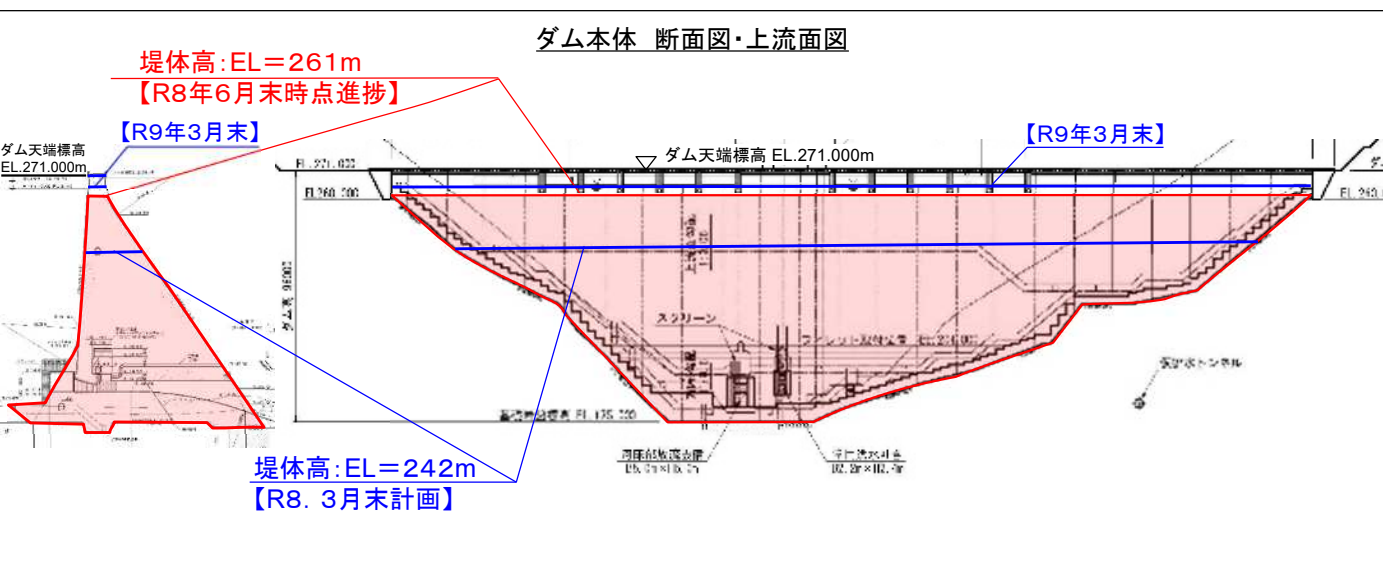
足羽川ダム水海川分水堰工事



水海川導水トンネル3期工事

■工事内容

令和2年度より、ダム本体建設工事に着手し、令和4年10月に基礎掘削完了、コンクリート打設に着手。令和8年度6月末時点で約97%まで打設。



ダム打設状況
(上流側)



(R8.6撮影)



イメージパース

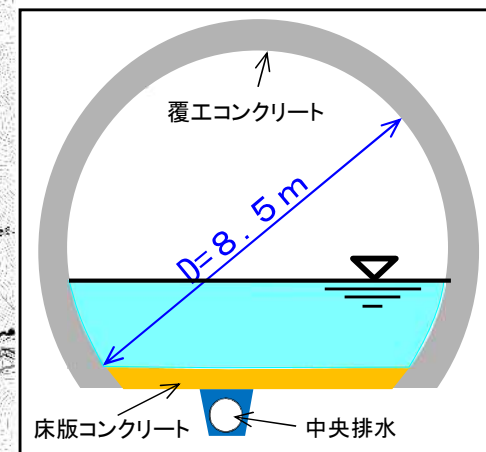
水海川導水トンネル工事について(進捗状況)

(足羽川ダム工事事務所)

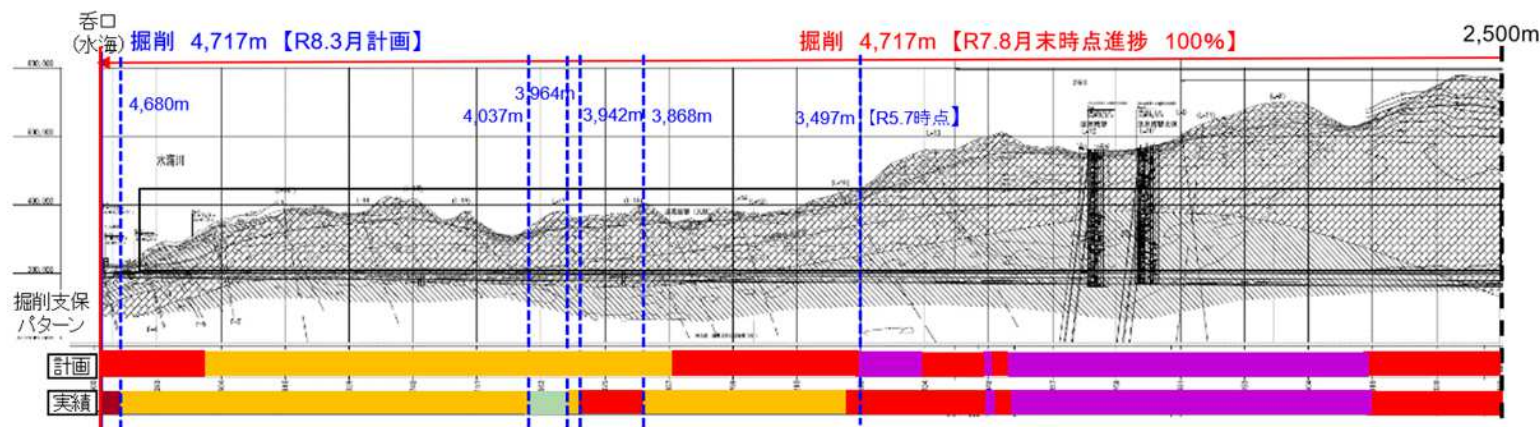


○トンネル全延長4,717mに対して、令和7年8月末に掘削完了。

令和2年10月16日に水海川導水トンネル技術検討委員会を設置し計7回開催、令和8年1月13日に開催した委員会にて、トンネル全長の掘削が完了した事を確認した。



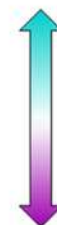
標準断面図



掘削支保パターン
凡例



地山の状態が良い



掘削支保
パターン

地山の状態が悪い

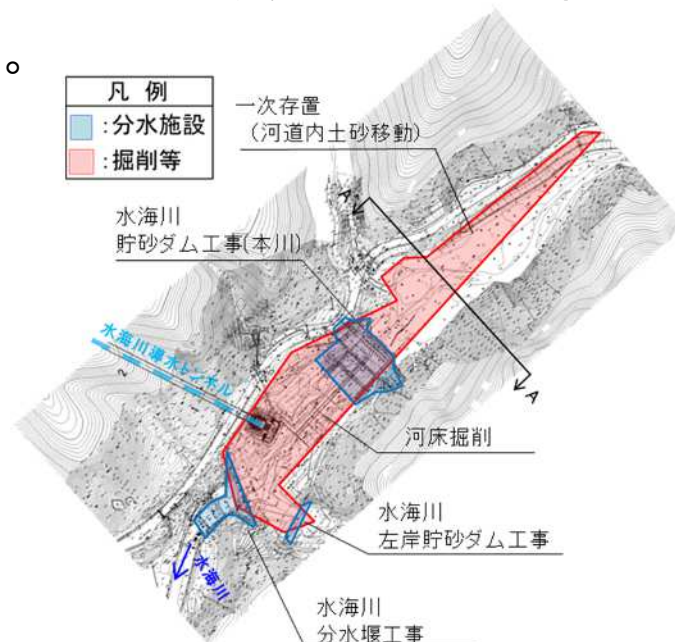
水海川分水施設工事について(進捗状況)

(足羽川ダム工事事務所)

令和4年度より水海分水施設関係工事に着手。

令和8年6月末時点の進捗率は 分水施設（掘削）約56%、分水施設（打設）約47%

水海川導水トンネル呑口部の仮設の二重締め切りについて、想定外の悪い地質への対応及び検討で着工が遅れたものの、現時点では全体工期に遅れは生じていない。



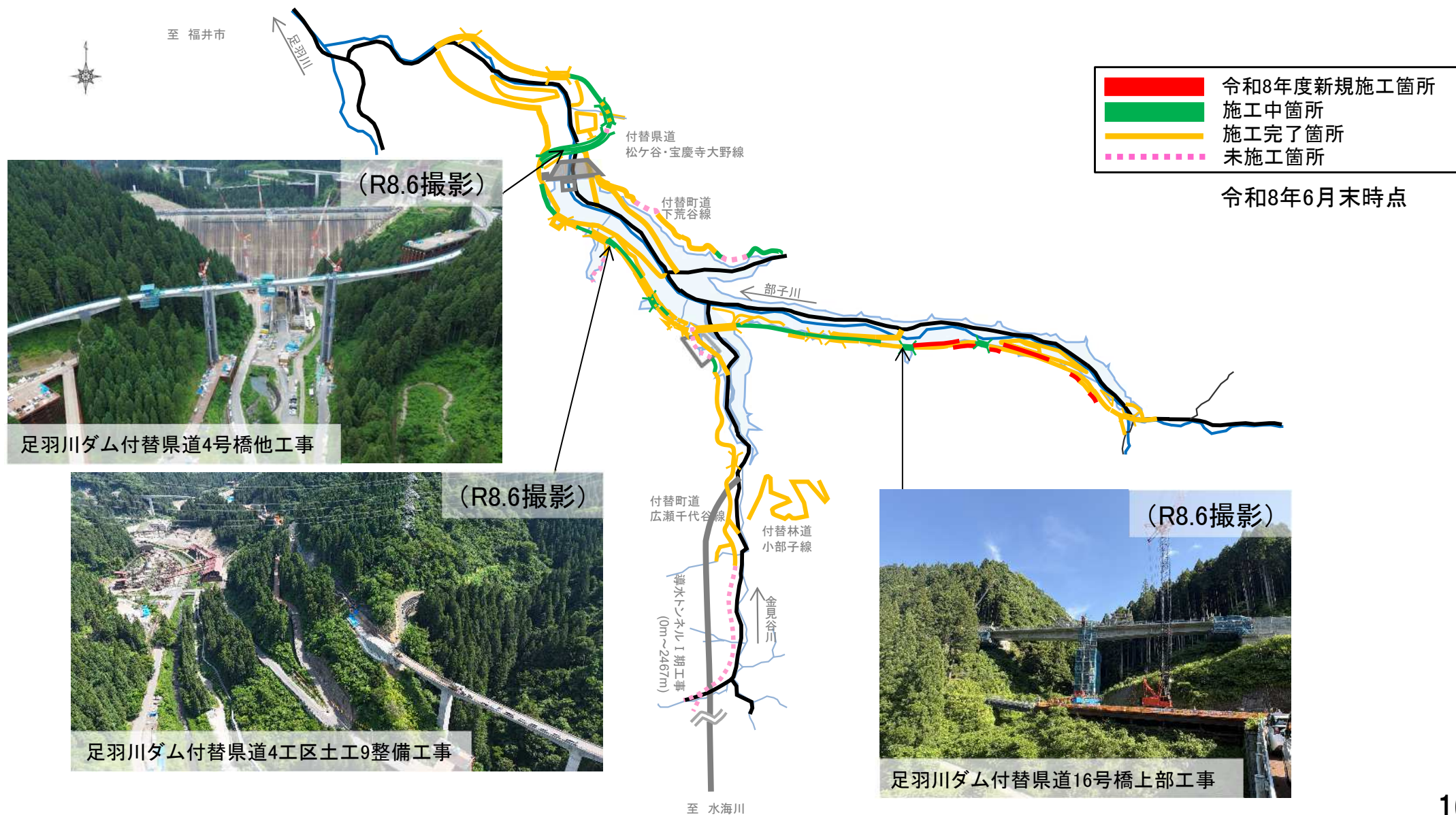
付替道路について(進捗状況)

(足羽川ダム工事事務所)

■工事内容

平成25年度より付替道路事業に着手。

令和8年度6月末時点で、付替県道については約87%、付替町道については約41%の進捗率。

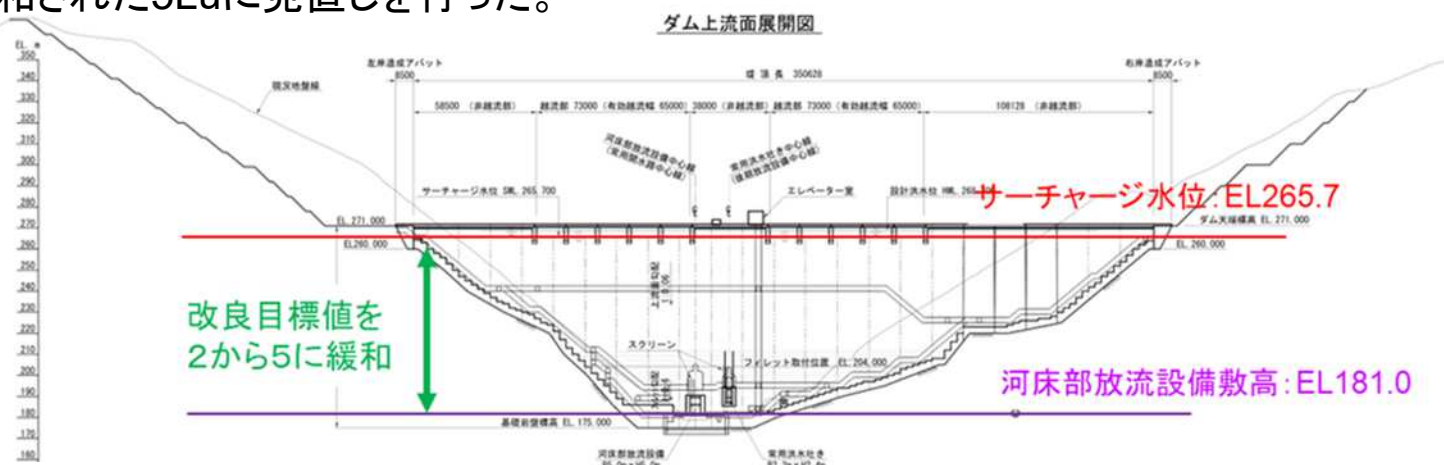


○流水型ダムの特性を踏まえたグラウト施工の見直し

洪水時にのみ水を貯める流水型ダムの特徴を利用し、常時満水位からサーチャージ水位間で、グラウト施工の合理化検討を行う。

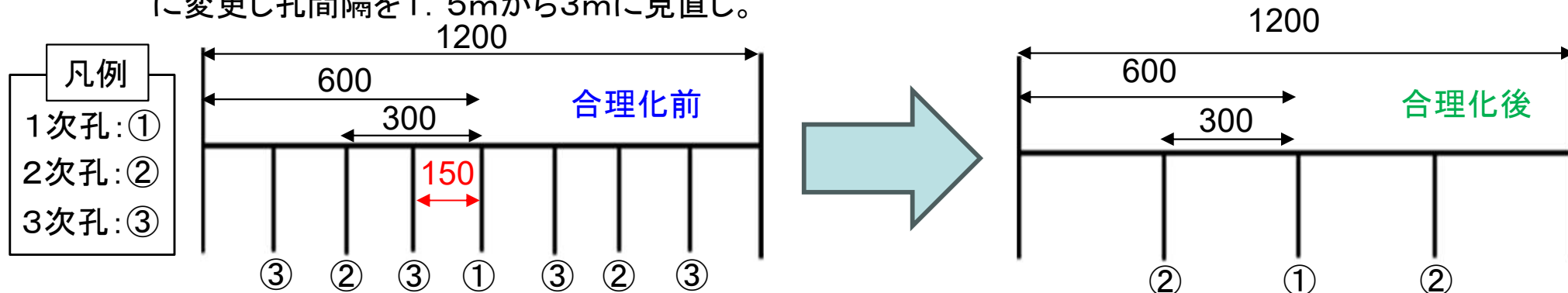
○左右岸の合理化の方針

●河床部放流設備敷高(EL181m)より上の標高の斜面は平常時は湛水の影響はなく、湛水期間が一時的で湛水による影響を受けないため、改良目標値を基準値内の最も厳しい値の2Luから最も緩和された5Luに見直しを行った。



○左岸の合理化方針

●河床部放流設備敷高(EL181m)より下の施工実績から、透水性の低い地質である可能性が高いため、河床部放流設備敷高(EL181m)より上の標高で施工するグラウトの孔数を3次孔から2次孔に変更し孔間隔を1.5mから3mに見直し。



○濁水処理設備の薬品変更

濁水処置設備の薬品(PH中和剤)を炭酸ガスのみの使用から希硫酸を併用することでコスト縮減を図る。

●足羽川ダムの本体打設において、序盤と終盤にはELCM工法を実施し、中盤にはRCD工法を実施している。ELCM工法で使用するコンクリートは、強いアルカリ性の濁水が発生するため、濁水処理設備で酸性の薬剤により中和し、環境基準値まで調整した水を排水している。

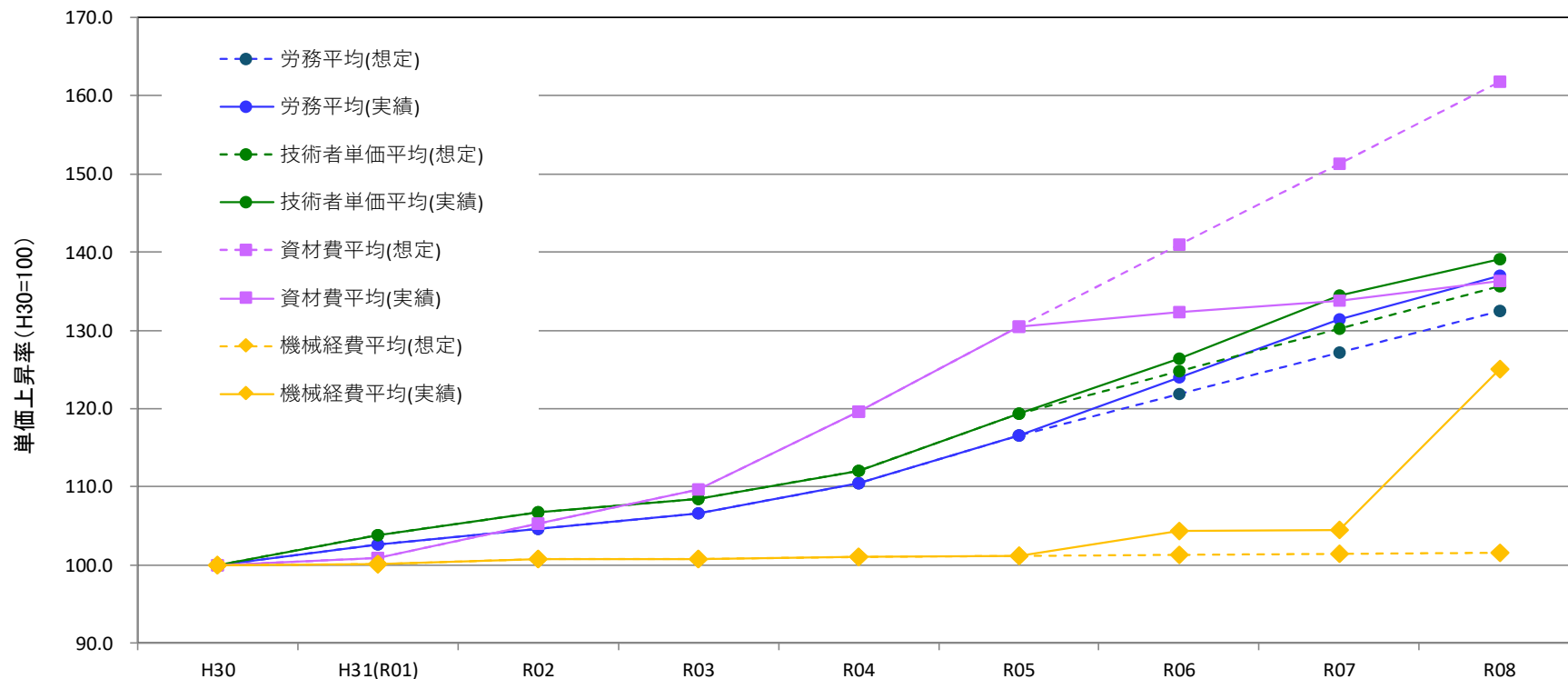
●打設序盤のELCM工法では、炭酸ガスのみを使用していたが、中和に必要な薬剤の実績を踏まえ、打設終盤のELCM工法では、中和剤として炭酸ガスよりもより安価な希硫酸を併用する、炭酸ガス+希硫酸の2段中和方式へ変更した。



濁水処理設備



- R8年度も公共工事関連単価は上昇傾向にあり、資材費は横ばいになりつつあるが、労務・技術者単価及び機械経費は事業費改定時想定より上昇率が高い傾向にある。



	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
労務平均(想定)	—	—	—	—	—	—	121.9	127.1	132.4
労務平均(実績)	100.0	102.7	104.6	106.7	110.4	116.6	123.9	131.5	137.0
技術者単価平均(想定)	—	—	—	—	—	—	124.8	130.3	135.7
技術者単価平均(実績)	100.0	103.8	106.7	108.5	112.0	119.4	126.3	134.5	139.1
資材費平均(想定)	—	—	—	—	—	—	140.9	151.3	161.8
資材費平均(実績)	100.0	100.9	105.2	109.7	119.6	130.5	132.3	133.8	136.3
機械経費平均(想定)	—	—	—	—	—	—	101.3	101.5	101.6
機械経費平均(実績)	100.0	100.1	100.7	100.8	101.0	101.2	104.4	104.5	125.1

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和8年6月16日
大臣官房技術調査課
大臣官房公共事業調査室
大臣官房官庁営繕部計画課

中東情勢の変化による建設資材への影響に係る直轄工事の対応について ～受注者が安心して施工・受注できる環境の整備に向けた取組～

国土交通省は、ナフサを由来とする建設資材について、代替資材を調達した場合等、追加で必要となる内容を設計変更する運用を導入し、受注者が安心して施工・受注できる環境を整備します。

国土交通省では、ナフサを由来とする建設資材について、昨今の中東情勢の変化に伴って生じている供給の偏りや流通の目詰まりの解消に努めているところです。

今般、中東情勢の変化を踏まえ、ナフサを由来とする建設資材について、代替資材の調達や流通経路の見直し等、追加で必要となる内容を設計変更する運用を、直轄工事において導入します。

本運用については、令和8年6月16日以降、既契約工事を含め全ての直轄工事に適用することとし、受発注者間で協議の上、適切に対応することとします。

<問合せ先>

大臣官房技術調査課 建設システム管理企画室 企画専門官 神宮
TEL : 03-5253-8111 (内線 22353)、03-5253-8221 (直通)

大臣官房 公共事業調査室 課長補佐 佐藤
代表 : 03-5253-8111 (内線 24296)、03-5253-8258 (直通)

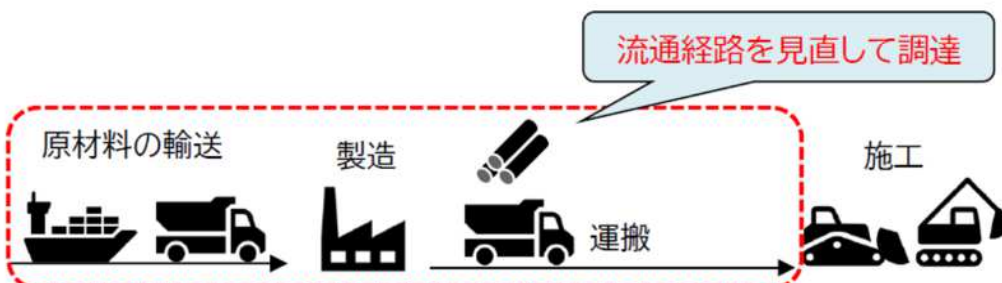
大臣官房官庁営繕部計画課 営繕積算企画調整室 営繕積算高度化対策官 柳
代表 : 03-5253-8111 (内線 23243)、03-5253-8236 (直通)

中東情勢の変化等による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更について

- 国土交通省では、昨今の中東情勢の変化に伴うナフサを由来とする建設資材について、供給の偏りや流通の目詰まりの解消に努めているところ。
- 受注者が安心して受注・施工できる環境を整備する観点から、ナフサを由来とする建設資材について、代替資材の調達や流通経路の見直し等、追加で必要となる内容を、受発注者間協議の上、設計変更する運用を、直轄工事において導入。

当初契約

工事実施地区での通常の流通価格により資材を調達

設計変更
(ケース①)代替資材を調達
→ 代替資材で設計変更設計変更
(ケース②)設計図書どおりの資材を流通経路を見直して調達
→ 調達地区の価格(運搬費も考慮)で設計変更設計変更
(ケース③)設計図書どおりの資材を調達
(ただし、流通状況を踏まえた調達経費が反映された価格)
→ 実際の調達価格で設計変更

『第14回 足羽川ダム環境モニタリング委員会』の開催 (R8. 3. 9)

【モニタリング委員会概要】

日 時: 令和8年3月9日

目 的: 足羽川ダム工事の現地着手するにあたり、評価書を踏まえ
実施する環境調査や環境保全措置等の内容について、環
境面から専門家の意見を伺うことを目的に開催

委員会メンバー:

委員長: 福原輝幸 (福井大学 名誉教授: 水環境)

委 員: 上野裕介 (石川県立大学 生物資源環境学部

環境科学科 准教授: 鳥類・生態系)

: 奥村充司 (福井工業高等専門学校

環境都市工学科 非常勤講師: 水環境)

: 松田隆喜 (福井県立道守高等学校 教諭: 魚類)

: 松本淳 (越前町立福井総合植物園 園長: 植物)

(50音順・敬称略)

委員会結果: 令和7年モニタリング調査結果と環境保全措置の内容及び
令和8年モニタリング調査計画(案)について、今後の調査
及び環境保全措置の実施計画を確認。



委員長挨拶



委員会開催状況



◎令和7年度環境保全調査及び第14回足羽川ダム環境モニタリング委員会への報告

○クマタカ繁殖状況の調査と結果

委員会資料抜粋

- Aペア
【繁殖結果】 **繁殖なし**
・令和6年12月～令和7年8月にかけて、令和6年生れの若鳥が確認されており、令和7年は、子育てを行っていると考えられ、新たな繁殖はなかった。
- Bペア
【繁殖結果】 **繁殖なし**
・令和6年12月～令和7年10月にかけて、令和6年生れの若鳥が確認されており、令和7年は、子育てを行っていると考えられ、新たな繁殖はなかった。
- Dペア
【繁殖結果】 **繁殖なし**
・令和7年3月には交尾が確認された。令和6年12月～2月における巣Ⅲでの産卵行動は2度のみであった。3月に入ってから産卵等の行動は見られず、繁殖を中断したと考えられる。
- Eペア
【繁殖結果】 **繁殖なし**
・令和6年12月～令和7年5月にかけて、令和6年生れの若鳥が確認されており、令和7年は、子育てを行っていると考えられ、新たな繁殖はなかった。

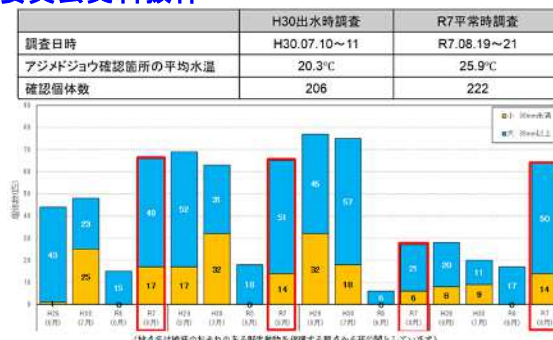
【委員からの意見】

クマタカD ペアの繁殖失敗について、工事騒音による忌避行動が確認されなかったため影響は低いと考える。今後も引き続き調査を実施していくこと。

令和8年3月9日開催
第14回足羽川ダム環境モニタリング委員会

○アジメドジョウの平常時と出水後の生息環境調査と結果

委員会資料抜粋



- ・R7平常時調査では、全体で222個体を確認し、大型個体(体長30mm以上)が171個体、小型個体(体長30mm未満)が51個体であった。
- ・各地点で小型個体が一定数確認されており、ダム下流河川においてアジメドジョウの繁殖環境が維持されていると考えられる。

※ 体長30mm未満を当歳魚(調査年に生まれた個体)として区別

【委員からの意見】

水温は20℃～25℃の間で調査を実施し、生息場所、個体の大きさを加味した調査結果とすること。
アジメドジョウは2つのタイプ(斑紋収束型・斑紋分散型)がいるため、どのタイプが部子川に生息しているか調査すること。

◎令和8年度環境保全計画

◇クマタカ繁殖状況の調査

令和7年に引き続き定点調査にて繁殖特性や営巣地周辺における生息状況の把握のための調査。
CCDカメラにより巣内の状況を動画にて記録。騒音計を営巣木に設置し工事騒音に伴うクマタカの反応に関する解析を実施し、今後の保全措置に資する基礎データを取得する計画。



クマタカ



定点調査



CCDカメラ画像



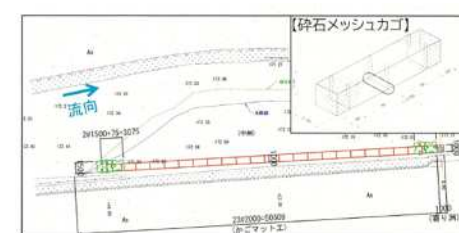
騒音測定機器設置

◇アジメドジョウの平常時と出水後の生息環境調査

令和7年に引き続きアジメドジョウの生息状況及び生息環境の調査として河川の高濃度濁水発生後や大規模流量発生後に捕獲や潜水観察・採水及び分析を実施し、生態的特性の把握や、シェルター試験施行箇所における生息状況の確認を行う計画。



アジメドジョウ



シェルター試験施工(イメージ)

月2回(5月～11月)の一般向けの現場見学会を開催、行政機関及び教育機関等は個別に対応
令和7年度に民間企業の企画・運営によるナイトツアーや木田小学校で出前講座を実施
令和8年度は夜間の現場見学会を開催予定



令和7年度は1,283人が来場



令和7年10月30日事業説明(県立大学)



令和8年1月30日出前講座(木田小学校)



令和7年5月14日ナイトツアー

ダム左岸天端(説明)

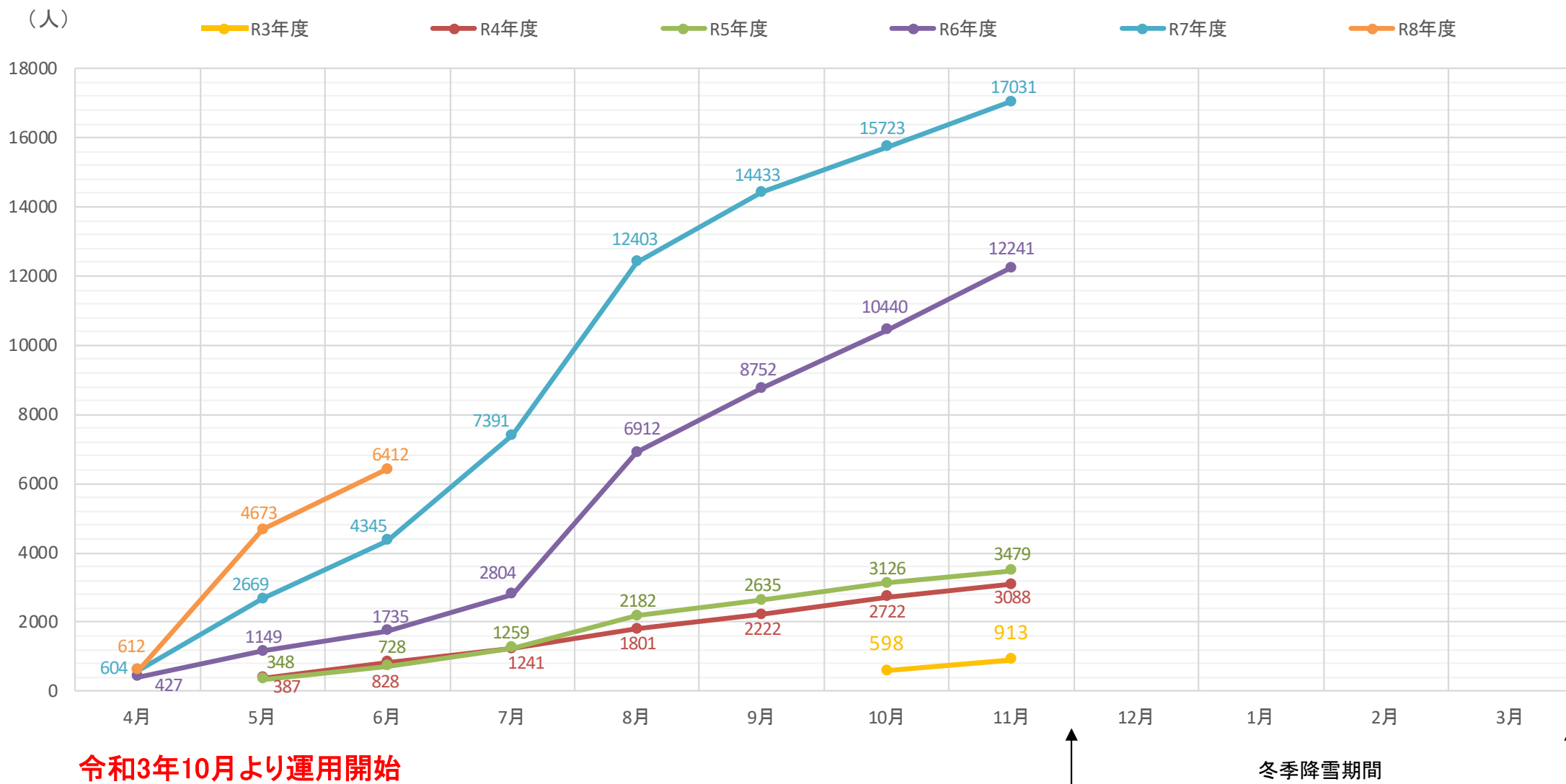


ダム監査廊



足羽川ダム本体建設工事展望台・ダムギャラリーあすわ 来場者数

令和3年度～ 広報施設来場者



ダムを活用した、様々な情報発信や広報施策を実施することにより、地域活性化を推進する。
令和8年度に地域活性化策とりまとめを実施する予定。

○足羽川ダムを活用した地域活性化検討会の開催

◎第1回 日時:令和8年2月18日

- ・これまでの取組と今後の取組(事前協議案の提示)
- ・地域活性化施策(案)の提案
- ・検討会規約の承認



第1回開催状況

◎第2回 日時:令和8年3月26日

- ・第1回検討会の提案内容に対する意見、新たな施策の提案。



第2回開催状況

【構成員】

- ・池田町長
- ・(一財)いけだ農村観光公社 理事
- ・(株)まちUPいけだ 代表取締役社長
- ・池田町商工会 会長
- ・福井県 土木部 河川課長
- ・足羽川ダム工事事務所長

【事務局】

- ・池田町ダム対策室
- ・足羽川ダム工事事務所 調査設計課

足羽川ダム建設事業に係る水源地域対策について

● 池田町地域振興策（池田町定住促進対策）【令和4年6月8日変更決定】

足羽川ダム建設による影響、急速に進む少子化や人口の流出など、池田町の人口減少に係る諸課題に対し、定住促進対策を主とする地域振興策を下記のとおり実施するものとする。

【人の誘致と定住の促進】

- ①就農移住者への支援
- ②若者起業者への支援
- ③町外若者獲得住宅の整備
- ④移住希望者への住宅提供・空き家物件情報の発信
- ⑤町内新築希望者への支援

【結婚定住の促進】

- ①多世帯住宅改修への支援
- ②結婚定住者への支援

【町内での子育て支援】

- ①育児・子育て世帯への支援
- ②町外高校進学者への通学の支援
- ③人づくり産業への支援

【観光の振興】

- ① 県内外の家族層を対象に、里山体験型テーマパーク「ツリーピクニックアドベンチャーいけだ」（ジップライン・アドベンチャーボート）等 を整備
- ②池田町の自然環境や伝統文化に親しむツアーを実施

【産業の振興】

- ①町内 6 次産業商品の販路拡大
- ②百匠一品運動（6次産業化）の拡充（商品開発補助）
- ③安全安心な有機農業商品としてPRを強化し、町産品をブランド化

【水源地域の振興】

- ①足羽川ダム水源地域振興交付金事業
- ②町道・林道舗装、展望休憩施設整備事業
- ③国道476号道路改良事業（白栗トンネル）等

【克雪および町外への通勤・買い物等対策】

- ①克雪対策事業（屋根融雪）への支援
- ②安全・安心な道路確保（国道417号道路改良事業（板垣坂トンネル）等）
- ③町民の暮らし向上、能楽の里を生かした賑わい創出（町道稻荷水海線道路改良事業）

※ここに掲げる事業については、必要に応じ、国土交通省、福井県および池田町が協議のうえ見直しするものとする。